

実施状況報告

事業名	第90回愛媛教育研究大会(中学校の部)
実施主体名	教育会附属支部
日時	平成22年11月26日(金) 9:00~16:30
場所	愛媛大学教育学部附属中学校
参加者	教育関係者(273)名

新学習指導要領の完全実施を目前に控え、「生きる力」の指導の充実が模索されている。附属の幼・小・中においては、昨年度まで「人間力を育てる幼・小・中連携教育の探究」を研究主題に掲げ、カリキュラム開発を行ってきた。

今年度は、これまでの幼・小・中の連携教育をベースに教育学部とも共同で「未来を拓く力の育成」という新しい研究主題を設定して研究をスタートした。

11月26日には、「未来を拓く力の育成 - 持続可能な社会を築くための、自立と共生の力を育む指導 -」をテーマに中学校の部の研究大会が開催され、基調提案・12の授業公開・10の領域別研究協議会が行われた。今年度は、教科教育だけでなく、生徒の心の方に対応する領域(「行く河」の時間)を新たに設定した。また、岩崎裕保先生(帝塚山学院大学教授、開発教育協会代表理事)の「ESDと参加型の学び」の講演もあった。

教育関係者(社会教育にかかわっている方々、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員、大学教員、教員OBなど)、NPOの方々が参加し、自立と共生の力をもった人間を育てるための教育や学校づくり、授業づくりについての協議が熱心にされた。(附属幼稚園・小学校は、「未来を拓く力の育成 - 自立(律)・共生する子どもの育成を目指して -」をテーマに2月10日に、特別支援学校は「卒業後の『働く生活』を実現するために - キャリア教育の視点から12年間の教育内容の検討 -」を研究主題に1月28日に、研究大会を開催する予定である。)

